

目 次

サイバー犯罪の最新事情——標的型攻撃を中心に……………岡田好史 ……	1
公開シンポジウム「再審と科学鑑定——作り上げられた冤罪を暴く」……………	22
2011年度 今村法律研究室新収図書・編集後記……………	24

サイバー犯罪の最新事情——標的型攻撃を中心に

専修大学法科大学院・法学部准教授 岡田好史

1. はじめに

内閣官房情報セキュリティセンターが今年1月30日に開催した「情報セキュリティ対策推進会議第9回会合」の会合資料において、我が国の政府機関等におけるサイバー攻撃として2012年10月に発覚した東京大学など国内5大学への攻撃、11月の宇宙航空研究開発機構（JAXA）でのコンピュータ・ウイルス感染¹⁾、12月の日本原子力研究開発機構におけるコンピュータ・ウイルス感染²⁾、今年1月の農林水産省からの情報流出の可能性³⁾の4事例が示された⁴⁾。2月に入ってからサイバー攻撃により外務省からも情報流出した可能性が報告され⁵⁾、地方自治体などの公的機関や民間企業等も含めると、さらに多くの事件が起きている⁶⁾。

社会の情報化が進み、ブロードバンド環境の充実とともにインターネットの利用者が急増している。これらの事件が生じた背景には、情報セキュリティ対策に不十分な点があるともいえるが、有線・無線の区別のないシームレスなユビキタスネットワーク環境への移行が進む中、サイバー犯罪の攻撃手法が洗練され、高度化してきてい